

令和 7年 4月 2日

## 令和 7年度 学校経営方針

北九州市立大谷中学校

校長 鋪田 直子

### 1 学校教育目標

『生徒が自ら未来を切りひらくことのできる「主体的に生きる力」の育成』

校訓 「実行・真実・敬愛」

生徒が主体性をもって学ぶこと、また、様々な教育活動の中で自らの成長を実感し考え行動すること、そして、多様な個性を尊重し合いながら、集団として共に成長していくことを実現できる学校を目指す。キーワードは、「挑戦、そして感動へ」

- 目指す学校
  - ・ 明るく活気のある学校
  - ・ 生徒が安心して学ぶことができる学校
  - ・ 地域や保護者に信頼される学校
  - ・ 教職員がやりがいと誇りをもって、生徒の成長のために取り組める学校
- 目指す生徒像
  - ・ 自分の目標に向かって粘り強く努力する生徒
  - ・ 失敗を恐れず、自ら学び、自ら考え、正しく判断し行動する生徒
  - ・ お互いを認め合い、励まし合う生徒
  - ・ 自他の生命や人権を尊重し、思いやりの心をもって他者に接する生徒
  - ・ 安全に留意し、体力の向上や健康の保持増進を図る生徒
- 目指す教職員像
  - ・ 生徒のよさや可能性を大切にする教育的愛情に満ちた教職員
  - ・ 生徒に明るく接し、温かい言葉かけを行い、生徒と共に感動する教職員
  - ・ 高い専門性と使命感と情熱をもつ教職員
  - ・ 「チーム大谷」の一員として同僚性を高め、不祥事防止に向けて互いに協力し合う教職員
  - ・ 豊かな人権感覚をもつ教職員
  - ・ 互いに研鑽し合い、専門職としての資質・能力の向上を目指す教職員
  - ・ 保護者・地域からの信頼を得るため、積極的に連携に努める教職員

### 2 重点目標と具体的方策

四部会における PDCA サイクルによるスクールプランの実践を行い、重点目標の実現を目指す

#### **重点1 確かな学力・体力の向上**

- ① ICT（GIGA 端末（タブレット）、大型テレビ等）を効果的に活用した授業改善
- ② 基礎・基本を定着させ、生徒の学ぶ意欲を高めるための学習規律、学習習慣づくりの推進
- ③ 誰一人取り残さない一人一人を大切にする授業や指導の実践・推進
- ④ 校内研修や互見授業を生かすとともに、生徒が主体的に学ぶ学習サイクル（考えをもつ→話し合う交流する→表現する→振り返る）の推進
- ⑤ 「運動の好きな生徒」「運動量の豊富な生徒」の育成を重視した授業と行事等の創造を図る

## 重点2 心の育ちの推進

- ① 自己実現を目指す積極的な生徒指導体制の確立
  - ・ 情報共有と指導方針確認（定例生徒指導委員会）
  - ・ いじめ等問題事案への速やかな組織的対応
  - ・ 長期欠席生徒に対して、関係機関との効果的な連携を図り、多様な学びの場を設定し進路実現を図る（ステップアップルームの活用、オンライン授業・教育委員会施策の活用、SSWによる専門機関との連携等）
  - ・ 将来の夢と可能性を育み「生き方を学ぶ」を学ぶ多面的で探究的な進路指導の充実
- ② 主体的で自立した生徒を育てる生徒会活動の充実
  - ・ あいさつ、校則の見直し等、生徒が発信する活動の充実
- ③ 道徳教育・人権教育・健康教育の充実
  - ・ 「考え議論する」心に響く道徳の授業づくり
  - ・ 学級集団づくりを促進する学級活動の充実（子どもつながりプログラムの活用等）
  - ・ 確かな人権感覚を育む人権教育の推進（新版「いのち」の活用、「明日への伝言板」等人権作品を活用した人権週間の取組等）
  - ・ 保健体育科と、特別活動等との横断的な指導を工夫し、心身ともに健全な生徒の育成を図る

## 重点3 子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進

- ① 挑戦、そして感動へ繋げる、互いのつながりを重視した教育活動の充実
  - ・ 一人一人の良さを引き出し、達成感や思いやりの心をもって互いに切磋琢磨し高め合う喜びの充実
  - ・ 学級、学年、学校の繋がりを実感できる取組を推進する
- ② 特別な支援を要する生徒への全校体制による対応の充実
  - ・ 共感的な生徒理解に立つ学級づくりの推進
  - ・ 授業における個別の支援を充実
- ③ 健康・安全教育の推進
  - ・ 基本的生活習慣の定着と食育の推進
  - ・ 災害に対し主体的に行動する力を育む防災教育の推進

## 重点4 連携の充実

小中一貫教育の推進、及び保護者、地域、関係機関との連携促進

- ・ PTAや地域との連携（大谷中学校区地域学校協働活動本部・コミュニティースクールの推進）
- ・ 大谷中区小学校（大谷小・鞆ヶ谷小）及び地域との連携を図り、地域での教育力を高める
- ・ 子天山笠の参加を通して、地域の教育力による健全な生徒の育成と、日本の伝統文化の理解を図る

## 3 重点目標達成のために大切にしたいこと

| 同僚性の高い職場環境                                                                                                                           | 危機管理体制・対応の徹底                                                                                                                                                                  | 業務改善とワークライフバランスの充実                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ チームで行う学校運営</li><li>・ 風通しの良い組織、存在感・所属感のある居心地の良い職場づくり</li><li>・ 気兼ねなく相談できる温かい職員集団づくり</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 不祥事撲滅（飲酒種運転、体罰、不適切な言動、個人情報等）</li><li>・ 「ほう・れん・そう・かく（報告・連絡・相談・確認）」</li><li>・ 記憶より記録</li><li>・ 最悪の事態を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 部活動の適切な運営（適正な休養日の設定、合理的練習）</li><li>・ 前例踏襲にとらわれず、新たな視点で業務を見直す</li><li>・ ICTの効果的な活用</li><li>・ 同僚の良さに学び、業務改善への意識を高める</li></ul> |